

8

講習・研修の効果

～研修実証の受講者の声より～

平成23年8月から11月まで全国の6事業者*1によって実証的に標準育成プログラムの研修が行われました。期間中、20代から60代まで幅広い層の方が200名以上*2受講されました。下記にその一部の方の受講後の感想をご紹介します。

レベル2 ▶ 受講者の声

● 講義の感想は？

ISO15001や14064-1の講義について、ISO9000・14001・27001・20000を自社で実践してきたので、今回の講義で環境マネジメントシステムの違いが良く理解できました。特に、推進組織体制の動き等がとても参考になりました。また、試行的排出量取引制度の講義では、クレジットの生み出し方や課題が見えてきてかなり有意義でした。



A氏・自営業
(省エネルギー普及指導員)

レベル3 ▶ 受講者の声



B氏・ビル管理会社勤務
(エネルギー管理士)

● 本研修の内容で役立った点は？

今までも省エネ法の届出書類の内容を理解しているつもりでしたが、今回の研修で、省エネ法の改正内容や趣旨と提出書類の書き方がより具体的に理解できました。

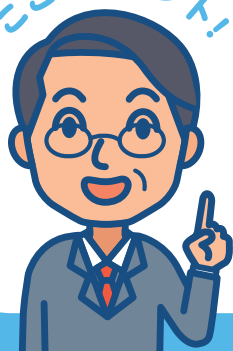
● 研修内容を職場で活用している？

自社で管理している大型ビルの省エネ提案を進めており、来年度の実施に向けて検討しています。また、その他、LED照明への変更や高効率照明の採用等の提案も行い、CO₂削減を進めていきたいと考えています。こうした取組により、省エネ法の年1%以上のエネルギー削減を目指したいと考えています。

*1 事業主体(50音順): 公立大学法人 大阪府立大学、一般社団法人 カーボンマネジメント・アカデミー、(株)住環境研究所/デロイトトーマツコンサルティング(株)、NPO法人 生活・福祉環境づくり21、(株)テクノファ、(株)山武

*2 受講者の属性:【保有資格】エネルギー管理士、エネルギー監理員、エコ検定、技術士、環境マネジメントシステム審査員補/審査員 等
【所属する会社の業種】メーカー、コンサルタント、小売、建設、リース、都市ガス、地方公共団体 等。また、退職者、学生も多数参加。

ここがポイント!



- 平成23年度に、実証的に標準育成プログラムを実施
- 「炭素クレジットの生み出し方や課題が見えた」、
「省エネ法の改正内容や提出書類の書き方が理解できた」、
「自社ビルの省エネ提案に活かせる」といった参加者の声

9

よくあるご質問

Q.1

誰でも受講できる
のですか？
レベル1を受けずに
レベル2を受ける
ことは可能ですか？



A.1

どなたでも受講頂けます。レベル1を受けずに
レベル2を受けることは可能です。但し、レベル2
を受講・認定後にレベル3を飛ばしてレベル4を
受けることはできません。ご自身にあったレベルを
選択いただき、そこから一つずつレベルを上げて
行っていただくこととなります。



Q.2

修了試験はどのよう
な内容ですか？
どのくらいの頻度で
行われますか？



A.2

修了試験は全国共通の試験問題となり、その内容
は標準育成プログラムの各レベルの内容に沿った
もので毎回変更されます。修了試験は、年に数回
実施される予定です。



Q.3

実務経験は必要
ですか？どのように
評価されますか？



A.3

レベル1は不要です。レベル2は育成プログラムの中
で実施される演習において確認します。レベル3
及びレベル4については、レベル認定を受ける
際に業務実績を示す事例を報告していただき、
レベル認定委員会が報告内容を評価して判定を
行います。



Q.4

カーボンマネジャー
に認定されると？



A.4

「カーボンマネジャー」としてレベル認定を受ける
ことにより、省エネから炭素クレジット取引まで
幅広い知識・技能・実務経験を有し、エネルギーと
温室効果ガスマネジメントができることを広く
アピールできるようになります。



レベル認定は
平成24年秋から
スタートします。
ご参加をお待ちしております。



このパンフレットについてのお問い合わせ先



政策統括官(経済財政運営担当) 付
参事官(産業・雇用担当) 付

〒100-8970 東京都千代田区霞ヶ関 3-1-1 TEL:03-5253-2111 (代表)

内閣府HP <http://www5.cao.go.jp/keizai1/jissen-cu/jissen-cu.html>